

開催にあたり

東日本大震災から丸15年が経過しました。2019年、私たちは震災により中心市街地が壊滅的な被害を受け多くの方々が亡くなられた岩手県陸前高田の地から、鎮魂の祈りと未来への希望を届けるために『響け！希望のトランペット～未来に向けて届けよう！日本そして世界の被災地へ』と題したトランペットの演奏会を開催しました。今年で8回目を迎えます。

この演奏会の魅力は、陸前高田の市民の皆さんと県内外から参加して下さる演奏者が想いを一つにして創り上げることです。地域の方々には、チラシの配布、チケットの販売、当日の受付、お弁当の準備、そして温かなおもてなし等々、運営面で支えていただいています。そして演奏者は、プロ、アマ問わず、地域的にも岩手県内をはじめとして北は北海道から南は関西まで、年齢も中学生から70歳代の方々まで、本当に幅広い方々に参加していただいています。

今年も、私たちは、陸前高田の皆さんと全国から集う演奏者の皆さんの想いを重ね、亡くなられた方々への鎮魂の祈りと未来への希望、そして多くの尊い命が奪われている世界中の戦いの地に一刻も早く平和が訪れるよう祈りを込めて、今年の「第8回 響け！希望のトランペット」演奏会をお届けしたいと思います。

多くの皆さまのご来場をお待ちいたしております。

実行委員会代表 西田邦昭



第一部

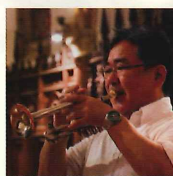
陸前高田市民吹奏楽団と三陸地域有志による合同演奏

三陸沿岸地域で吹奏楽に関わる有志が集まり、合同演奏をさせていただきます。中高生を含む若者から年配の方まで、幅広い年代が一同に会して一つの音楽を作り上げます。全国から集まって下さる素晴らしい演奏家の皆様とともに、この陸前高田の地で音楽を楽しむことができることを嬉しく思います。



名誉音楽監督
杉木峯夫

富山市生まれ、東京藝大、リコー国立高等音楽学院、リコー管弦楽団、札幌交響楽団を経て東京藝大教授とやま賞文化庁長官表彰。現在は札幌PMF組織委員会評議員、日本演奏連盟専務理事、日本トランペット協会会長、紋別音楽セミナーディレクター、紀尾井ホール室内管弦楽団桂冠演奏家、清水寺100本トランペット、姫路城100本トランペット、鉾路市民吹奏楽団音楽監督、水戸トランペットアンサンブル名誉顧問、東京藝大名誉教授。



音楽監督・指揮
小林好夫

東京藝大卒、同大学院修士課程修了。フランス国立ディジョン地方音楽院へ留学。第13回日本打楽器コンクール第3位。東京藝術大学音楽部管弦楽研究部、山梨学院大学、長野県小諸高等学校音楽科の講師を歴任。オーケストラ ensemble NOVA、メランジェ合奏団、ensembleすずらん、トリオアコードの各メンバー。清水寺100本のトランペット、姫路城100本のトランペット副音楽監督・編曲担当。



副音楽監督
佐々木 駿

岩手県出身、日本を拠点としながら国際的に活動するトランペット奏者。国立音楽大学附属高校を卒業後、オーストリアの私立アントン・ブルックナー音楽大学に留学。2017年、ポルトガルで海外ソロデビュー。2022年、1st アルバム「Sky」をリリース。(音楽配信サービス iTunes Store インストールメンタル部門 日本トップアルバム1位を獲得)現在、シャゲル社公式アーティスト、平成音楽大学講師、岩手大学教育学部音楽科非常勤講師。

- 協力：立教大学、岩手大学、チームとも・いき、一般社団法人あぶらむの会、特定非営利法人りくカフェ、株式会社 MAT インターナショナル、陸前高田市民有志の皆さま
- 賛：株式会社オホーツクファーム喜多牧場、野中貿易株式会社、お茶の水下倉楽器、株式会社ビュッフエ・クランボン・ジャパン、株式会社グローバル、システムプラス株式会社、下田商事株式会社、かわかみ法律事務所、石井商店、山陽堂書店
- 後援：陸前高田市、陸前高田市教育委員会、陸前高田市芸術文化協会、陸前高田市観光物産協会、陸前高田商工会、キャピタルホテル1000、公益社団法人日本演奏連盟、東北吹奏楽連盟、宮城県吹奏楽連盟、岩手県吹奏楽連盟、日本トランペット協会、九州トランペット協会、関西トランペット協会、札幌トランペット協会、道東トランペット協会、オホーツク紋別音楽セミナー実行委員会、いわてトランペットソサイエティ、水戸トランペットアンサンブル、東京藝術大学音楽部同声会